

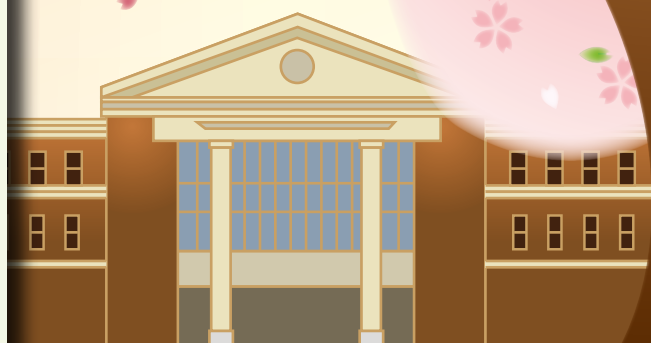
書籍館

vol. 6

2012
SPRING

CONTENTS

電子ジャーナル(EJ)と文献検索ツール 生命医科学部教授 横川 隆一先生	2
卒業生から新入生へのメッセージ	4
データベース検索ポータル	6
INTERVIEW6 法学部法律学科 幡 寿世さん	8
マルチメディア・ライブラリー	9
所蔵資料紹介 社史の世界	10





電子ジャーナル(EJ)と文献検索ツール



生命医科学部 教授
横川 隆一 先生

研究の必須アイテムである、電子ジャーナルと文献検索ツール。いまや、これらの活用なくして研究論文は書けないと言っても過言ではありません。大学で活用スキルを身につければ、きっとあなたの強い味方となるでしょう。

研究に欠かせないアイテム

研究において、電子ジャーナル (Electronic Journal、以下 EJ という) と文献検索ツール (SciVerse Scopus、Google Scholar など) は欠かせません。新しく発表された文献の情報を素早く得ることができなければ、研究分野の進歩についていけなくなってしまうからです。これから研究論文を書こうとするときにも、学術文献を収集し、読むことが必要です。書いた論文のすべてが学術雑誌に掲載されるというものではありません。権威のある学術雑誌であればあるほど、投稿された論文に対する査読(下コラム参照)が厳しくなります。査読を無事に通過するためには、他者の論文を引用することで、関連する研究分野におけるその研究の独自性、および貢献した点を論文の中で明確に説明しなければなりません。そこで、数多くの論文から、自分の論文に利用すべきものはどの論文か? どのような論文が自分の研究の比較対象として適切か? を調べることが必要です。

EJ と文献検索ツールは、このとき力を発揮します。文献検索ツールに研究内容のキーワードを入力すると、関係する論文が瞬時に選び出されます。学内であれば図書館のホームページから簡単に利用できますし、学外からでも VPN 接続で利用することができます。(注1) SciVerse Scopus などの文献検索ツールが便利なのは、検索して見つけられた論文を、インターネットを通じて、EJ から電子ファイル(PDF ファイル)としてその場で手に入れることができる点です。読みたい論文がはじめから分かっているときには、その論文のタイトルの一部を入力すれば、簡単に探すことが可能です。オンラインで利用できる EJ がなかった頃は、図書館や学部の文献室に出かけて、製本されて分厚くなった学術誌の中から、関係論文を探しては読み、必要なものはコピー機で複写していました。労力と時間が必要でした。



「電子」と「紙」を駆使しよう

EJ と文献検索ツールの利点は、単に、論文を手に入れやすいだけではありません。SciVerse Scopus などの検索を利用すると、論文間の関係も簡単に分かります。どの論文がどの論文を引用しているのか? 最近ではどのような論文に引用されているのか? その論文の著者が他にどのような研究論文を発表しているのか? も分かります。

これから研究に取り組もうとする学生にとって、最新の研究の動向を把握しやすくなります。

しかし、紙媒体の学術資料を手にすることも重要です。在外研究(注2)で行った英国の Oxford 大学の図書館で、数百年前に書かれた人体の解剖学書を直接手にとったとき、ページをめくるとに研究に込めた先人の熱い思いが蘇ってくるようで感動したのを覚えています。また、紙媒体の学術雑誌をめくっていると、目当ての論文ではない論文も自然に目に入るので、これは? と思う論文にも出くわすことがあります。研究結果の図や表が目に入るだけでも、新しい発想がわきあがることがあります。自分の研究とは直接関係ない研究論文から新しい研究のヒントが見つかることもあります。このようなことは、紙媒体を利用する利点かもしれません。EJ ではなかなか難しいです。

「査読」とは?

投稿された論文の研究分野に詳しい数名の研究者(査読者)が、論文の内容を審査することです。研究の目的に新規性があるのか? その研究方法は適切なものか? 十分に評価できる結果が示されているか? 結果を基に論理的に考察されているか? 論理の飛躍は無いのか? など詳細に検討されます。ふつう査読は 1 回では終わりません。数回のやり取りが査読者と著者の間で行われ、論文が学術雑誌に掲載する価値があると判断されれば、掲載されます。



電子情報を「味方」にする

EJ と文献検索ツールを利用すると、苦勞せずにたくさん
の論文が手に入りますが、注意点もあります。関係論文
の中でどの論文が、今、必要なものか？見つけなければな
りません。すべての論文に目を通すのはとても大変です。
abstract (概要) に目を通して、その論文を読むべきか
どうかを判断しますが、速読が求められます。論文の作成
時にも注意が必要です。文献検索ツールは、論文のタイ
トル、概要に含まれるキーワードを基に、関係論文を選び
出します。キーワードを十分に吟味しないと、苦勞して作
成した研究論文が誰の目にも触れられず、EJ の波の中で
埋もれてしまうかもしれません。その論文を読んだのは、
著者である自分と論文の査読者だけ、なんてことになりた
くないですから。

注意点さえ気をつけておけば、EJ と文献検索ツールは、
研究者の必須アイテムとして大活躍してくれます。コン
ピュータの電源を入れれば、そこには EJ の世界が広がっ
ています。

文献を検索し、調べていると、同じようなアイデアや発
想を持つ人が世界にいることを知って、「早く論文を完成
させないと」と焦りを感じたり、自分の発想に新規性を確
信して、やる気を高めたり、少し楽しい、わくわくするよ
うな知的興奮を味わえます。これから研究に取り組もうと
している学生諸君は、自分の考えや思いをレポートや論文

の中で十分に表現してください。そのとき、きっと電子
ジャーナル (EJ) と文献検索ツールが力強い協力者になる
ことでしょう。

- 注1** VPN (Virtual Private Network) 接続サービスを使うと、デー
タベース検索などを学外から利用できます。(一部、学内利用限定の
サービスもあります。)
- 注2** 同志社大学の先生が、一定期間、外国で研究・調査に専念すること
ができる制度です。

紙だけじゃない! 大学図書館

同志社大学図書館は様々な学術資料を提供しており、
オンラインで使える資料も大変充実しています。多種
多彩な電子資料を利用できることは、いわば、本学学生
の特権です。EJ や検索ツールは面白そうだけれど、ど
うやって使ったらいいのかわからない…という人は、まず
図書館の講習会に参加してみましょう! 講習会の内容・
日程は詳細が決まり次第、図書館ホームページ、DOORS、
掲示等でお知らせ
しています。

積極的に参加して、
スキルアップを目指
してください。



卒業生から新入生へのメッセージ

大学図書館を活用しよう



まずは、図書館に足運んでください。わからないことがあれば、図書館カウンターで遠慮なく相談してください。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。本学では、免許・資格の一つとして図書館司書を取得できます。図書館の専門的職務にたずさわる職員を「図書館法」では「司書」と称します。司書課程を受講した先輩が、昨年の秋に本学図書館で実習を受けられました。図書館の利用方法について、新入生の皆さんへ、今春卒業された先輩からのメッセージをご紹介します。在学生の皆さんもどうぞ参考にしてください。

①在学中の所属／②自己紹介／③進路(自由回答)

今出川図書館

ラーネッド記念図書館

高校と大学の図書館の違い



いのうえ かおり
井上 薫さん

- ①文学部国文学科
②勉強以外に子どもと関わるボランティアサークルやカフェバイトなど充実した毎日を過ごして、大学生活を楽しみました。

大学の図書館には、高校の図書館とは異なるところがたくさんあります。私は高校生のときは図書館に行きづらく、あまり利用しませんでした。大学の図書館はとても広くて、ただ本を読むだけの場所ではありません。パソコンもたくさんありますし、目的に応じた部屋がたくさんあります。例えば、基本的には私語をしてはいけない静かな図書館ですが、グループ学習室・グループスタディスというところでは仲間と話し合いながら勉強ができます。大学では、授業と授業の間に空き時間ができることが多くあります。空き時間に友人とおしゃべりして時間をつぶすのももちろん楽しいですが、その時間、大学の図書館を利用すれば、とても有意義な大学生活を過ごせますよ。



みわ まゆみ
三輪 真友美さん

- ①文学部美学芸術学科
②専門は音楽学、本と図書館が好きで司書課程を受講しました。

高校では図書館の本を勉強に使うことはなかったかもしれませんが、しかし、大学ではレポートや研究に図書館の資料が欠かせません。高校と大学の図書館の一番の違いはその資料の豊富さにあります。大学の資料は本だけではなく、雑誌、新聞、電子資料、マイクロフィッシュ、マイクロフィルム…などなど多岐にわたります。自分が求める情報にたどり着くために、どの資料を使うのが大切になります。そしてその資料にたどり着くプロセスも大事なポイントです。読みたい本をすぐに探せた高校とは違い、大学では電子資料やネット上の資料を探ることが最初は難しいかもしれませんが、まずはDOORSを使いこなしましょう。また、図書館が企画する「情報探索の技」という講習会に参加して情報探索のプロを目指してください。きっとご自身の研究に役立ちます!



さかさき きょうへい
坂崎 恭平さん

- ①文学部国文学科
②専攻は日本近代文学。図書館は誰よりも多く利用しています。
③大学院進学

大学に入ってまず気づいてほしいことは、「大学図書館と高校までの図書室は全く違う」ということです。高校までの図書室は数教室分程度の小規模なもので、「読書の好きな生徒が自主的に本を借りにくる場所」ではなかったでしょうか。もちろん、大学も本を好きな人が借りにくることができる場所ですが、規模が格段に違います。これは大学が研究・教育の場であり、常に大量の資料が必要とされるからです。つまり、テスト準備、レポート・論文作成や研究においては、図書館を利用せずには通過することができないと言えるでしょう。同志社大学図書館は、全国でトップレベルの蔵書量を誇る大学図書館ですので、皆さんも図書館を大いに活用して、大学での勉学に勤んでください。少々堅苦しい紹介となりましたが、図書館にはその他にも楽しいことがいっぱいあります。勉強の息抜きにも使えますので、「使い倒してやる!」くらいの気持ちで足しげく通ってもらうことを願っております。



なかもり ちさと
中森 千聖さん

- ①文学部国文学科
②小さい頃から本が好きのため、本に関わる業務に興味を持ち、司書課程を履修しました。図書館や書店など、本のある場所ならいくらでも時間をつぶせます。
③通販業界

大学は、高校の図書館と比べものにならない広さで、閲覧室も数多く設置されています。本の所蔵数は今出川図書館だけで60万冊以上もあり、学術的な図書を中心に配架されています。高校の時に図書館をよく利用していた人は、小説などの読み物が少ないことに戸惑うかもしれません。確かに読み物は少ないですが、ゼミや授業で必要な資料が取りそろえられており、困った時に足を運べば、きっとヒントを見つげられます。自分の興味のある分野に関係する書棚に行けば、新たな発見があるかもしれません。またこれまで図書館を全然利用しなかった人は、図書館と聞くだけで敬遠するかもしれません。大学図書館には、友人と一緒に勉強のできるスペースや、DVDを視聴できるスペースなどがあります。図書館は本を借りるだけの場所ではありません。「本が嫌いだから」「図書館に興味がないから」という理由で利用しないのは、もったいないですよ。

学生時代に利用した同志社大学図書館



いちかわ まちこ
市川 真千子さん

- ①文学部国文学科
- ②大学に来到、まず、最初に図書館へ行きました。
- ③金融機関

図書館に対していろいろなイメージをお持ちだと思いますが、在学中に図書館と仲良くなることをお勧めします。これから講義やレポートを書く中で出会う「？」に添えてくれる場所だからです。私自身、図書館に大変お世話になりました。情報検索講習会や、本の紹介・入手方法の案内をしてもらえらるレファレンスサービスがレポート作成時には役立ちました。読みたい本が絶版の場合でも、図書館を通じて簡単に入手できました。学術書だけでなく雑誌類も充実しています。自分の専攻以外の分野でも読みやすいものがありますし、語学学習や進路を考える上で役立つものなどさまざまです。困ったことがあれば、思い切ってカウンターで尋ねてください。利用し易く工夫された図書館を利用しないのは「もったいない」です。ぜひうまく活用して有意義な大学生活を送ってください。



みずたに かなえ
水谷 夏奈恵さん

- ①文学部国文学科
- ②近現代の日本文学の研究で図書館を頻繁に利用しました。

文学作品を研究する上で図書館の活用は欠かせませんでした。作品の初出・初刊資料を取り寄せたり、データベースで先行研究を調べたりと、研究はいつも図書館に行くことから始まりました。特に利用したのはレファレンスカウンターです。当初はデータベースの効果的な使い方が分からず、いつも図書館の方に助けていただきながら資料を集めていました。さまざまな活用方法を教えていただいたので、今では大抵の資料収集は自分で出来るようになりました。単に助けてもらうだけでなく、そこでたくさん事を教えていただけるのがレファレンスカウンターの魅力だと思います。また、研究だけではなく魅力的な企画展示も定期的に開催されており、ただ息抜きに眺めるだけでも楽しめました。活用しようと思えばとことん活用できる魅力的な図書館を利用し、充実した学生生活を送ってください。



たかた あかね
高田 茜さん

- ①文学部美学芸術学科
- ②本好きの文学部生です。

同志社大学図書館は、全国の大学図書館の中でも蔵書数や規模の面で大変にレベルの高い誇るべき施設です。これまで小学校、中学校、高校の間に公立図書館などを利用して、図書館は趣味で読む本を借りる所と思っている人が多いと思います。しかし、大学図書館は趣味で読む本だけでなく、学術研究に備えて膨大な数の書籍がそろっています。また、電子ジャーナルというパソコンから内容を見ることが出来る記事や論文もあります。まだまだ、大学図書館には高校までの図書館にはなかったサービスや使い方があり、それを卒業までの4年間に全て理解する学生は少ないと思います。図書館の使い方をマスターできれば、レポートや卒業論文を書くとき、本を借りるときなどさまざまな場面で、短時間に詳しい情報に触れることが出来ます。このような情報を要領よく選ぶスキルは、社会に出てから大変重要なスキルです。新入生の方々も大学図書館をうまく使い、自分のスキルアップにつなげてください。



やまね かずなり
山根 一成さん

- ①文学部国文学科
- ②図書館好きが高じて司書資格を取得しました。

新入生の皆さんには学生時代に大学図書館をたっぷり利用していただきたいと思います。専門分野においてはもちろん、皆さんが日々の生活の中で抱いた興味や疑問についても大学図書館の豊富な蔵書を活用して学べます。また、何十冊もある文学全集を読破してみたり、哲学書を読み込んでみたり、他分野の専門書に手を伸ばしてみたりなど、体力的・精神的に充実している今だからこそ挑戦できることもあるかもしれません。同志社大学図書館は全国的にも大規模な大学図書館です。私の学生生活においてこのような施設を利用して良かったことは幸運であったと感じています。その利用を通して得たものも多々あります。新入生の皆さんもどどん大学図書館を利用してください。きっと何かか得られると思います。

同志社女子大学生から 大学と女子大学図書館の相互利用



あきやま のりこ
秋山 乃莉子さん

- ①学芸学部日本語日文学科
- ②近代文学ゼミ所属、卒論は谷崎潤一郎の作品研究、同志社大学の紅茶サークル所属、塾講師やインターネットカフェでアルバイトをしました。

同志社女子大学と同志社大学の図書館の大きな違いは、その蔵書の種類です。女子大学には、大学にはない、ちょっと違った学科があります。例えば、音楽学科（声楽、鍵盤・管弦打楽器、作曲、音楽療法など）、食物栄養科学科（食品・調理・栄養）、人間生活学科（衣・食・住をはじめとした生活に関わる知識）、現代こども学科（保育・こどもについての知識）、薬学部などです。蔵書は、DOORSから両大学を一括して検索することができ、どの図書館でも返却できます。また京田辺・今出川キャンパス間の取り寄せなど、相互利用制度がとても充実しています。もちろん男性も利用することが出来るので、直接行ってじっくり探すのもお勧めです。「女子大だから…」と敬遠せず、どどん同志社女子大学図書館を利用し、これからの大学生活により多くの蔵書利用を行ってください。



なかの さき
中野 早紀さん

- ①学芸学部日本語日文学科
- ②富山県出身で読書、映画観賞が趣味です。
- ③地方公務員

同志社大学の参考図書室の充実に驚きました。蔵書はもちろん、学習スペースがたくさんある参考図書室が羨ましいと感じました。また、同志社女子大学にはレファレンス専門のカウンターがなく、メインカウンターと一緒にいるので、専門のスタッフのいるレファレンスカウンターは新鮮で、実際に利用者がたくさんいたのでこの点でも充実しているなど感じました。他にも、京田辺キャンパスのラーネット記念図書館ではオープンなパソコンスペースがあります。また、たくさん本を持つ際に役立つスーパーにあるようなかが置かれていて、利用者にうれしい工夫がなされていたのが印象的でした。両大学の図書館の雰囲気と比較すると、同志社女子大学は静かで落ち着いた印象、同志社大学は学習意欲のあふれた活気に満ちた印象を受けました。両大学は蔵書の分野も違うので、それぞれの特徴をうまく活用しながら、大学生活の学習や研究に役立ててほしいと思います。

知らないままじゃ、もったいない!

「データベース検索ポータル」


同志社大学図書館ホームページの中に「データベース検索ポータル」があるのをご存知ですか? 「レポート作成時にはよく利用しています」という方もいれば、「そういうのあった気がする・・・」という方もいるでしょう。新入生のみなさんは、初めて聞く言葉かもしれません。新学期もスタートしました。新しいことを学ぶ始まりの季節です。そこで、あらためて、このポータルサイトをご紹介しますと思います。

まず、ここでご紹介する「データベース」とは、web上で利用できるもので、特定のテーマで集められた情報の集合体(例えば、新聞記事、論文、統計、所蔵資料の目録等)の中から、キーワードなどで検索すれば、目的に合った情報を瞬時に得ることができるものです。

2012年4月現在、図書館の「データベース検索ポータル」には125種類の様々なデータベースが掲載されています。これらは同志社大学が提供元と利用契約をしているもので、その内容は信頼性の高いものとなっています。(一部インターネット上で公開されているフリーのデータベースも掲載されています)

日々の学習やサークル活動、就職活動にも役立つデータベースが満載の「データベース検索ポータル」。是非、ご利用ください。

こんなに便利! データベース!!

いつでもどこでも 

VPN接続サービスを利用すれば、24時間、学外からでも資料の利用が可能です。(一部、学内利用に限定されているものもあります)

複数の人が同時利用可能
(一部アクセス数制限があるものもあります)




ワンクリックで簡単アクセス

キーワード一つで、簡単・瞬時にデータベース内の情報にたどり着くことができます。




即時性があります

紙の資料は出版されるまでに時間を要しますが、データベースはコンテンツの更新がすぐに反映されます。



就職活動の情報収集に

新聞データベースも多数。「日経テレコン21」では企業情報のコンテンツもあります。



それでは、アクセスしてみましょう!



まずは、同志社大学図書館HPにアクセスします。

これが「データベース検索ポータル」です。





一覧は国内・海外とに分かれ、ABC順に表示されています。利用したいデータベース名が事前にわかっている場合はこちらからどうぞ。

データベースは資料種別ごとにそれぞれのカテゴリに分けられています。利用したいカテゴリを選択すれば、それぞれのデータベースの概要がわかります。



お薦めデータベース

数あるデータベースの中から、みなさんに広く利用いただけるものをピックアップしてご紹介します。

辞典・事典

ジャパンレッジ プラス

小学館の総索引語約70万という膨大な知識の集大成『日本大百科全書』、わが国最大の国語辞典『日本国語大辞典第2版』、漢字研究の第一人者白川静の『字通』、吉川弘文館の日本史の全領域を網羅した歴史大百科事典である『国史大辞典』、時事用語や流行語を解説した用語辞典『情報・知識imidas』、その他、英語辞典や各外国語辞典等、多数の辞書・事典類や『会社四季報』、『週刊エコノミスト』などの企業や経済情報等『知』に関する様々な情報が搭載された総合データベースです。



こんなボリュームを一括検索できるなんてすごい!!

新聞記事

朝日新聞記事データベース

きくそう 閲覧Eビジュアル for Libraries

1879年(明治12年)の創刊号から今日までの膨大な朝日新聞紙面を簡単に記事検索できる国内最大級の新聞記事データベースです。1879年から1989年においては、新聞紙面が当時の紙面そのままPDFファイルで閲覧することが可能です。これには号外も含まれ、日本の激動の歴史を読み解く一つのツールになるかと思えます。他に『週刊朝日』『AERA』現代用語辞典『知恵蔵』も搭載されています。

過去から現在までの出来事もキーワード1つで一気に検索



雑誌記事・論文(国内)

サイニィ CiNii

国立情報学研究所(NII)提供のデータベース。『CiNii Articles』では、学協会刊行物・大学研究紀要・国立国会図書館の雑誌記事索引データベースなどの18,000誌・1,200万論文に及び膨大な情報を検索できる『論文データベース』です。検索した論文が引用したあるいは引用された論文の引用文献情報が付加されているものもあります。一部の論文については本文へのリンクがあり閲覧可能。『CiNii Books』では、全国の大学図書館等が所蔵する本の情報を検索できます。

レポート作成の時にこれほどとても便利ですね。



新規データベースのお知らせ

さらなる学術資料の充実をはかるために、今春より以下のデータベースを導入しました。みなさんの学習の基礎資料として、是非ご利用ください!!

New **「Library Press Display」**
世界92カ国48言語約1700紙の新聞がオリジナル紙面のまま、ほぼオンタイムで閲覧できます。過去最大90日間の記事が閲覧可能。

New **「KOD」**
研究社のオンライン辞書検索サービス。約17種類の辞書を搭載。英語辞書以外にも『総合ビジネス英語文例事典』『日本語表現活用辞典』などもあります。検索条件の設定が豊富。『ジャパンレッジ プラス』と合わせてご利用ください。

New **「毎索」**
毎日新聞記事検索データベース。2012年3月まで提供の『毎日Newsバック』に代わるものです。検索についてもより便利に、また、1872年の創刊号より1999年までの全紙面の閲覧が可能になりました。

図書館では、このようなデータベースの情報検索をよりスムーズに行えるよう春と秋に利用講習会を開催しています。詳しい内容・日程は図書館ホームページ『講習会のお知らせ』をご覧ください。

以上のように、本学図書館では、紙の資料ばかりでなく、このような電子資料の提供も行っています。図書館が提供する学術情報を広く利用いただくことで、みなさんの学習・研究がより一層実り多きものとなることを願っています。

大学をたのしむ 図書館利用のススメ

2012年 法学部 法律学科 卒業 **はた ひさよ** 幡 寿世さん

今回登場いただくのは、今春卒業された幡寿世さんです。

幡さんは、国際交流サークル DESA (Doshisha Exchange Students Association)での活動や、海外派遣プログラムへの参加など、学生生活を活動的に過ごされていました。今回は、図書館の活用方法や楽しみ方などについてお話していただきました。



国際交流サークル DESA の一員として活躍されていたようですが、DESAに入った動機や活動内容を教えてください。

高校生の時に1年間留学をしたため、英語を忘れないためにも英語を使って活動できるサークルに入りたいと思ったためです。

活動としては、留学生と一緒に京都観光やBBQをしたり、日本語サポートを行ったりしています。

留学生へ図書館の案内等を行うことはありますか。

自習室がどこにあるのか、パソコンはどこで使えるのかなど、個人的に図書館の案内や使い方を教えたことがあります。留学生によっては、日本語がわからない状態だったりするので、わかりやすく噛み砕いて説明します。

SJEC (STANFORD JAPAN EXCHANGE CLUB) のプログラムを利用して、スタンフォード大学で過ごされた経験もあるそうですが、参加の動機や、スタンフォード大学図書館について教えてください。

SJEC は、DESA と協定しているスタンフォード大学にあるクラブです。SJECの海外派遣プログラムに参加するには、DESAのメンバーであるということが一つの条件になっています。

参加した動機は、高校で留学をしていたこともあったので、語学習得を目的にするというよりは、アメリカの大学の授業を受けてどこまで自分が理解できるのかを試したいと思ったのが一つです。さらに、アメリカの学生生活を体験し、彼らの授業や勉強、また将来に対する姿勢を少しでも垣間見ることで、自分にとってプラスになるのではないかと考えたからです。

スタンフォード大学の図書館は、図書館というよりは美術館のような感じでした。図書館としての機能を果たす一方で、むしろ学生の自習施設という印象の方が強かったように思います。大きなラウンジのようなところがあって、そこで勉強している学生も多かったです。

授業やゼミの準備、また卒業後の進路を決めるにあたって、図書館をどのように活用されていましたか。

試験前や授業後に少しもやもやしていることがあるときなど、その授業に関連した本を探しに行ったりしました。また、ゼミではもちろん図

書館でのリサーチを行いますし、グループ学習室を借りてみんなで集まったりもしました。わからないことがあればリファレンスカウンターに行き、一緒に資料を探してもらったり、他大学の図書館から資料を取り寄せていただいたりすることもありました。

自分の専門分野とは関係がないのですが、心理学が好きだったので、個人的に面白そうな本を見つけたり、好きな場所を見つけて勉強したりしていました。私は、今出川図書館の書庫が好きで、暇な時間によく行き、並んでいる本のタイトルを見たり、洋書を手に取ってちょっと読んでみたりして、楽しい時間を過ごしていました。

同志社大学図書館へ要望があれば教えてください。

自分のパソコンがあれば、どこにいてもインターネットが利用できるようにしてほしいです。また、日曜日にもう少し遅くまで開いてほしいとか、お正月やゴールデンウィークなど学校が休みでも図書館が開いていたらいいなと思うこともあります。



最後に、留学生や新入生、在学生に向けて図書館利用のススメをお願いします。

学生にしかできないことというのはたくさんあると思いますが、勉強するということもそのうちの一つに入ると思います。サークルなどに必死になることも大切ですが、勉強する楽しさがあったときの嬉しさは何とも言えないものがあります。なんとなく気になって、もう少し勉強したいと思うことはとても大切だと思います。そういう発見をさせてくれる一つの手段が図書館であり、本です。「図書館=本を借りるところ、勉強するところ」ではなく、本に用事がないときでも、図書館に行って学問の探検をすることは思っているよりも楽しいことです。そういう意味で、これからまだ学生でいられるうちに図書館の楽しさを覚えてみるのも良いと思います。

今日はありがとうございました。
これからも、楽しく図書館を利用してください。

インタビューこぼれ話

「スタンフォード大学に行く前と後では、同志社大学図書館に対するイメージが大きく変わり、楽しむ感じで図書館を使うことができた」と活き活きと語られていたのが印象的でした。

幡さんは、イギリスのサセックス大学院への進学が決まっています。今後も益々活躍されることをお祈りします。



スタンフォード大学のランドマークであるフーバータワー (Hoover Tower) から見たキャンパス

利用は無料!

マルチメディア・ライブラリー

**本だけじゃない!
さあ、映像の世界へ
出かけよう!**

図書館にあるのは、本や雑誌だけでなくと思いませんか?図書館内にあるマルチメディア・ライブラリーでは、ビデオや DVD などのマルチメディア資料を多数所蔵しています。テレビ番組や映画で馴染みのあるものから、レンタルビデオ屋さんにはないような学術的なものまで、さまざまなジャンルの資料がそろっています。中には、個人ではとても買えない高額なものも。また、ビデオや DVD 以外でも、CNN・BBC などの海外ニュースや、放送大学の講義も視聴することができます。授業の空き時間に映画を観る...留学に備えて語学学習をする...など、利用の仕方も目的も自由。そしてもちろん、利用は無料。図書館に立ち寄った際に、一度のぞいてみてはいかがでしょうか?

★資料の貸出はできません。★利用対象者は本学の学生、教職員、卒業生です。



**例えば
就活**

**こんなことで
困っていませんか?**

なんとなく
就活してる
けど...

将来どんな
職業に
就こう?



働くって
どういうこと?

そんな
あなたには...

**『NHK プロフェッショナル
仕事の流儀』(第1~7期)**
(NHKエンタープライズ)

- 中学英語教師 田尻悟郎の仕事
楽しんで学べ 傷ついて育て (第2期)
- 玩具企画開発者 横井昭裕の仕事
ヒットの秘密は"トゲ"にあり (第2期)
- ウェブデザイナー 中村勇吾の仕事
ワンクリックで世界を動かせ (第5期)
- 公務員 木村俊昭の仕事
"ばかもの"が、うねりを起こす (第6期)
- 再生医療 岡野光夫の仕事
"夢の医療"に挑む (第8期) ...など



大今図 大田図
DV366.29 || P9637 || 1~65

さらに広がる!



いろんな国の文化に触れたい!

**『世界ふれあい街歩き』
(BOX1~6)**
(NHKエンタープライズ)

大今図 大田図
DV290.9 || S9209 || 1~32

今の時代、どんな仕事にも
語学力は必要!

『Great Speeches』
(Educational Video Group)



大今図 大田図
DV310.4 || C9548 || 1~6,10,14,17~19



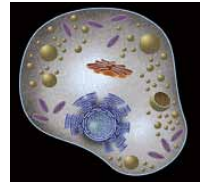
安心して生きられる社会とは?

**『近くて遠い、
遠くて近い貧困問題』**
(アジア太平洋資料センター)

大今図 大田図
DV368.2 || A9336 || 1

生命、地球、宇宙について
もっと詳しく!

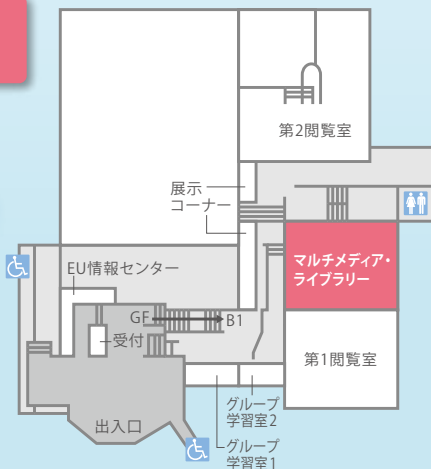
**『Cambridge Core
Science Series』**
(Cambridge Educational)



大田図
DV440.8 || S9508 || 1~8 (Space Science)
DV450.8 || G9218 || 1~8 (Geo Science)
DV460.8 || B9322 || 1~8 (Bio Science)

**今出川図書館
B1F**

**マルチメディア・
ライブラリーの
場所はココ!**



**ラーネット記念図書館
1F**



社史の世界

もうひとつの「日本史」に触れてみよう!

学術情報課 原 健治

なかなか読む機会のない「社史」。それもそのはず、通常は一般に流通しない本なのです。しかし「社史」には就職活動で業界・企業研究に役立つ情報が満載。何より、企業の視点で語られる「歴史」は、まさに私たちの知らない「もうひとつの日本史」。ぜひ一度、その歴史に触れてみてください。

社史とは、企業・団体の歴史をまとめた資料です。文章・表・資料の掲載が中心で、重厚な印象のものから、カラー写真を多数掲載し視覚的に楽しむことができるものまで様々です。

社史に関する研究書として著名なものに『社史の研究』（ダイヤモンド社 2002）があります。著者の村橋勝子氏は日本経団連事務局に所属され長年社史の研究をされてきました。同書には社史に関する概説・種類・編纂体制・構成要素・利用と入手など網羅的な解説があります。

同書によると**社史の特色**として次の5点があげられています。

- ① 会社の周年時期に編纂・発行される
- ② 会社の自費出版物、非売品がほとんどで、発行市場、流通機構がない。このため、刊行実態の把握が困難である
- ③ 著者が明記されないものがほとんどである
- ④ 制作部数が限定され、増刷もほとんどない
- ⑤ 需給バランスが大きくズレている。通常は寄贈という形で配布されるが、寄贈先は発行会社が一方向的に選択・決定するため、需要者に選択権がない。関係者以外は、古本市場に依存するしかないが、これも不完全なセカンド・マーケットでしかない

このように、社史は一般に目に触れる機会が少ないため、図書館等での閲覧に限られるというのが現状です。

『学術資料としての社史』の**資料的意義**として

- ① 会社自身がオーソライズした総合的な情報提供
- ② 時系列的なデータが得やすい
- ③ できごとや事実を調べやすい
- ④ 企業経営の歴史的情報を具体的な形で提供する
- ⑤ 産業史、経済史、技術史の研究書になる
- ⑥ 文化史、風俗史の研究書になる

という点もあげられています。

また意外な目的として、自社の歴史の振り返りによる、経営者や社員への教育という役割もあります。組織の歴史を整理することによりアイデンティティを構築し、次世代の経営戦略に生かそうというのです。社史の中には経営者が社員に向けたメッセージを送っているものもあり、未来に向けた組織の資産としての価値を生み出すものとなるのです。



『社史の研究』 村橋勝子 著
(ダイヤモンド社, 2002.3)
DOORS+ 大今図 3階北書庫 335.48 || M9378
DOORS+ 大田図 第2開架 335.48 || M9378

日本では毎年のように様々な社史が刊

「ホリプロ50年史: あなたに逢えて、よかった」

1960年に創業したホリプロは、現在でも日本有数の芸能プロダクションです。本書では、創業者(ファウンダー)である堀威夫氏をはじめとした歴代社長のインタビューや、創業前からのトピックを交えた詳細な年表などを中心とした175ページにおよぶ冊子になっています。「ホリプロ激動の記録と記憶」の章では創業前からの年表が掲載され、日本における芸能史として価値ある資料となっています。また「ピンチから学ぶホリプロの歴史」「1980年入社同期座談会」など、社員の生々しい内情も知ることができ企業の裏面史という一面もあります。あとがきでは、現在の社長である堀義貴氏が、社員に対するメッセージや「芸能史」としての意義を説くなど、この社史の発刊に込めた思いを綴っています。

『ホリプロ50年史: あなたに逢えて、よかった』
ホリプロ50年史 編纂委員会編 (ホリプロ, 2011.6)
DOORS+ 大今図 B2階書庫 770.6 || H9471



「山一証券100年史」

山一証券の創業100周年記念事業の一環として企画された社史は、その100周年を迎えた1997年に営業休止を余儀なくされてしまい、出版されること無くお蔵入りとなってしまいました。そんな社史が2011年、14年の歳月を経て出版されることになりました。前身の小池国三商店の誕生から自主廃業までのプロセスが上下巻にわたり、資料やインタビューをもとに記載されています。当時の編纂方針として「今日の産業史・経営史の研究水準に立って社内はもちろん、社外に対しても役立つ内容とする」などと定められ、執筆については大学の研究者が担当しています。今回の出版分には、冒頭に「解題にかえて—山一証券はなぜ破綻したのか」という章があり、経営をめぐる背景を中心に、史料から焙り出された問題点を紹介しています。なお、同書は極東書店から販売されており、現在でも入手が可能です。

『山一証券100年史』
粕谷誠、伊藤修、橋本寿朗 著
(日本経営史研究所: 極東書店, 2011.10)
DOORS+ 大今図 開架 338.17 || K9436 || 1~2

行されています。ここでは本学図書館で2011年度に新たに受け入れた社史の一部を紹介します。

「帝国ホテルの120年」

日本を代表するホテルの一つである帝国ホテルは1890年(明治23年)に海外からの賓客受入のため、明治政府の要請で設立され、2010年で開業120年を迎えました。すでに開業100年の際に『帝国ホテル百年史』という大作が刊行されていますが、本書はその後の20年に重きを置きつつ、同ホテルの通史を辿る事ができる資料です。あとがきには、百年史刊行時には名前が不明であった初代料理長の遺族から連絡が来るなど、編集に纏わる裏話も綴られています。

『帝国ホテルの120年』帝国ホテル編集(帝国ホテル, 2010.12)

DOO%+ 大今図 開架 689.8 || T9223



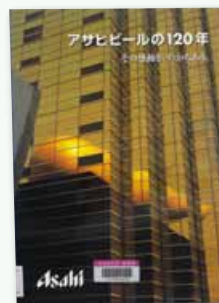
「アサヒビールの120年： その感動を、わかちあう。」

1889年に創業した前身の大阪麦酒から2009年までの120年を振り返っています。1980年以降の通史に多くの頁を割き、スーパードライの発売でシェアを急伸させたことに代表される改革期を「第二部激動の30年」として編集されています。食品メーカーの社史らしく製品のラベルや広告なども多くカラー図版で取り上げられ、読み物としても興味深いところです。

『アサヒビールの120年：その感動を、わかちあう。』

アサヒビール株式会社120年史編集委員会編
(アサヒビール, 2010.11)

DOO%+ 大今図 B1階書庫 588.54 || A9568



「東京書籍百年史」

1909年に創業した東京書籍は、日本における教科書出版でお馴染みです。『New Horizon』をはじめとする毎年発行される教科書について、構成・特徴・修正点などが紹介され、教育や教科書の歴史を通覧できる貴重な資料ともいえます。同時期に発行された「東京書籍100年のあゆみ」では、教科書の写真が紹介され、巻末には社員のアンケートも紹介されています。



『東京書籍百年史』

東京書籍百年史編集委員会・

社史編集室 企画・編集(東京書籍, 2010.9)

DOO%+ 大今図 開架 023.1 || T9483

『東京書籍100年のあゆみ』

東京書籍社史編集室・百年史社内委員会企画・編集

(東京書籍, 2010.9)

DOO%+ 大今図 開架 023.1 || T9483

一般の流通経路に乗らない資料であることから、本学図書館では寄贈を受けることになります。図書館に未所蔵で受入を希望される社史がありましたら購入希望の申し込みをしてください。

ちなみに、本学も創立100周年を記念して1979年に『同志社百年史』を刊行しています。「通史編」「資料編」がそれぞれ上下巻あり計4冊の資料です。本学を卒業されるまでにぜひ読破にチャレンジしてみたいはいかがでしょうか？

『同志社百年史』

同志社社史史料編集所編

(同志社, 1979.11)

DOO%+ 大今図 開架

099.02 || DB-5

DOO%+ 大田図 第1開架

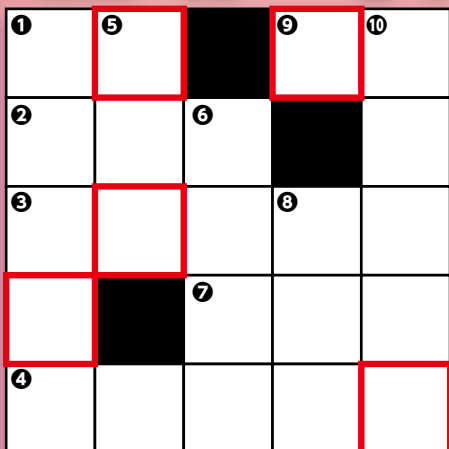
099.02 || DB-5



クロスワードパズル



Let's Try!



- 1 下のヒントを参考にマス目を埋めます。
- 2 赤色に囲まれたマス目の文字を並び替えて、本学図書館にも関係のある言葉を作ってください。

解答

--	--	--	--	--

ヨコのカギ

- 1 ダイハツ工業が1980年から製造、販売している3.5ドアハッチバックの軽自動車です。
- 2 経営破綻すると社会的な影響が大きい金融機関や地方公共団体などに対し、破綻を防ぐため事前に経営健全化の取り組みを求める仕組みを「早期〇〇〇措置」といいます。
- 3 多くの強国、強い国々のことを指します。英語ではthe great powers(of the world)。
- 4 〇〇〇〇〇・カーヴァーはアメリカの小説家で、1980年代のミニマリスト文学の旗手とみなされています。代表作に『愛について語るときに我々の語ること』『大聖堂』などがあります。
- 7 模範として従うべきもの、手本、規範のことを指します。
- 9 ゆっくりと歩く牛、練るように歩む牛のことを〇〇牛といいます。

タテのカギ

- 1 「あわれみ給え」などの意味で、死者のための聖務や聖週間の賛歌などに際して用いられた曲で、グレゴリオ・アレグリの作品などが有名です。
- 5 人をたぶらかし、血肉を食うという悪鬼。男は醜悪で、女はきわめて美しいといい、後に仏教の守護神となりました。
- 6 「さるの〇〇〇〇」は世界的に流布している説話の1つで、龍王の使いであるクラゲと猿の話です。
- 8 19世紀にウィーンで活躍した〇〇〇・シュトラウスは「ワルツ王」の名で知られ、「美しき青きドナウ」「ウィーンの森の物語」など数多くの曲を作曲しました。
- 10 ダイエットを中止したり中断したりした際に、体重が元に戻ったり以前よりも増えたりしてしまうことを指します。

分からないことは、「ジャパンレッジ プラス」などのデータベースを使って調べてみよう！（P6～7参照）



正解者の中から、抽選で5名様にすてきなプレゼント!

応募BOXは、両校地図書館メインカウンター横にあります。

締切

2012年5月11日金 17:00

(解答用紙は返却しませんのでご了承ください)

当選者と解答

2012年5月18日金 発表

今出川：今出川図書館前掲示板
京田辺：ラーネット記念図書館メインカウンター前

本冊子 名前の由来

1885年12月18日の新島襄の日記「出遊記」には、「書籍館」という言葉が記されている。これは同志社の初代図書館（現有終館）の定礎式に臨んだときのものである。

この図書館報の名称「書籍館」（しょじやくかん）は、2009年11月の創刊にあたり、新島がいた124年前の原点に戻って、同志社大学図書館を再考したいという思いから名付けたものである。



同志社大学 図書館報 vol.6 書籍館 2012年4月1日発行

編集・発行：同志社大学図書館
〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入
Tel: 075-251-3960 Email: ji-gakjo@mail.doshisha.ac.jp
http://www.doshisha.ac.jp/library/